
今のろう学校

学校紹介

現在の平塚ろう学校って？

神奈川県立平塚ろう学校案内板



令和8年度教育目標

●専門性をいかした一貫した教育を展開し、基礎学力とコミュニケーション力を身につけ、自ら発信する力を高める。

●命を大切にし、他者と協力しながらより良い人間関係を築く心と態度を育む。

●乳幼児期から発達段階に合わせた早期の相談、支援を実施し、ニーズに応じた教育の充実を図る。

●地域での活動を通して、自己を見つめ、自分らしく社会を生き抜く力を高める。

神奈川県立平塚ろう学校は、聴覚に障害のある幼児・児童・生徒一人ひとりの特性や発達段階に応じた教育を行う特別支援学校です。幼稚部から高等部まで設置し、言語やコミュニケーションの力を育むとともに学ぶ喜びと自立心を大切にして教育を推進しています。

本校では、手話や音声日本語、文字などを活用し、子どもたちが安心して自己表現できる学習環境を整えています。また少人数指導や、きめ細かな支援を通して、基礎学力の定着や社会性の育成に努めています。さらに、地域や関係機関との連携を大切にし、交流及び共同学習や進路指導の充実を図ることで、社会参加と自立に向けた力を育んでいます。教職員は、保護者と協力しながら子どもの可能性を引き出し、豊かな未来につながる教育の実現を目指しています。

校訓



「相手の立場に立ってやさしく見つめ、その人のために最もふさわしい方法で手を差し伸べる」という意味で子どもを理解する眼と、一人ひとりに応じた的確であたたかな支援を大切にするという意味が込められています。

校章



由来

昭和 23 年 4 月の学制改革により、神奈川県立盲唖学校が本校と県立平塚盲学校に分離した時、考案されました。外形は古鏡の形を取り、中心に平塚の頭文字のｈと、Deaf の頭文字のＤが組み込まれています。鏡は、指導者と子どもたちが並んで顔を映し、お互いの口の形や舌の動きを見て、声の出し方を学習することから、ろう教育を象徴するものとしてデザインしたものです。

制定：昭和２３年

制服紹介



生徒会の投票により、令和５年度から新しいデザインになりました。女子はネクタイ、リボンをどちらか選べます。
ネクタイ、リボンの色は高等部が紺、中学部がえんじです。

校旗



100周年記念ロゴマーク



令和７年度の平ろう祭で幼児児童生徒 45 名によるデザイン案の投票を行いました。その結果、上位５名の作者と高等部生で、それぞれの作品の良さを融合させたデザインを練り、作られました。平塚と言えば青い海と有名な七夕祭り、ろう学校 100 周年のお祝いの気持ちと手話を大切にしたい思いが込められた世界に一つだけの本校の子どもたちの力が一つになったロゴマークです。